

Keiro no Hi FESTIVAL

Celebrating Our Older Adults

2021年9月18日 (土)

11:00 a.m. – 1:00 p.m.

無料のお弁当とギフトパックの受け取り (事前予約の方のみ)

2:00 – 3:00 p.m.

敬老の日フェスティバル オンラインのビデオ配信



こちらのイベントは、Keiroと日米文化会館共催の元、荒谷財団、
コミュニティパートナーやご寄付者、及びボランティアの
皆様の協力によって無料で開催されています。

2021年 敬老の日 フェスティバルへ ようこそ！

親愛なるコミュニティの皆様、

Keiroと日米文化会館を代表して、2021年の「敬老の日フェスティバル」にご参加いただいた皆様に御礼申し上げます。昨年に引き続き2度目のバーチャルでのお祝いになりますが、私たちのコミュニティや人生に喜びと賢知そして価値感を伝え続けてくださっている先輩方へ敬意を表し、心より感謝を申し上げます。

配布にご協力くださったコミュニティ・パートナーからお弁当を受け取られた皆様、どうぞランチをお楽しみください。ギフトパックを受け取られた皆様には、お役に立つもの、楽しんでいただける中身を見つけていただければ幸いです。そして「敬老の日フェスティバル」のために企画したエキサイティングなプログラムを、ご一緒にお楽しみください。本日プレミア配信されるビデオは、コミュニティのリーダー、アーティスト、パフォーマーの方々と協力してこの日の為に制作いたしました。

現在の私たちのコミュニティの基盤を築いてくださった方々のご尽力に改めて御礼申し上げるとともに、この祝賀イベントを楽しんでいただけるよう願っています。また、本日のフェスティバルに留まらず、これからも私たちのコミュニティの全ての高齢者の方々を称え続けてまいります。

日常生活の感覚が戻りつつある中、皆様と日米文化会館のノグチプラザに再び集まって「敬老の日」を一緒にお祝いできる日が来ることを楽しみにしております。

感謝を込めて、



ジーン・カナモリ
Keiro代表兼CEO



パトリア・ワイアット
日米文化会館代表兼CEO



Keiroは60年にわたって、ロサンゼルス、オレンジ、ベンチュラカウンティにある日系コミュニティの高齢者とその介護者の生活の質を向上させる事に専心してきました。高齢化が進みつつある私たちのコミュニティの変化するニーズに応える為に、Keiroは文化に配慮した幅広いプログラムとリソースを英語と日本語の両語で提供しています。私たちはこの理念を推進し続けるべく、常に人を中心とし、革新的かつ協同的な対応を通じて様々な取り組みを実践しています。

提供するプログラムとサービス

クラス

Keiroでは、日系アメリカ人および日本人の高齢者にサービスを提供する数十ものコミュニティセンター、教会、寺院、その他の団体と提携し、高齢メンバーのニーズに合わせた包括的なプログラムを提供しています。現在、クラスはすべてバーチャルで提供されています。

癒しケア

Keiroはプロビデンス（Providence）と提携し、進行性の病や衰弱等の深刻な病を抱える日系アメリカ人および日本人高齢者に焦点を当て、文化に配慮した緩和ケア・プログラムを2017年8月に創設しました。この革新的なプログラムは、日英バイリンガルの医師、看護師、ソーシャルワーカーがチームとなり、既に患者を担当しているヘルスケア・チームと密接に連携しながら、サポートをさらに一層追加する形で提供することで、療養中の患者や家族が生活の質を高められるよう支援しています。

イベント

Keiroでは一年を通して、様々なイベントを提供し、高齢者やその介護者を支援しています。イベントはリソースや教育に焦点を当てた終日のカンファレンスから、健康と長寿をお祝いするフェスティバルまで多岐にわたります。2021年、Keiroではアルツハイマー病カンファレンスや介護者カンファレンス、複数のスピーカー・シリーズ、を実施いたしました。来月にはKeiroの60周年記念式典を予定しています。詳細はこちら：keiro.org/60

助成金 プログラム

2016年に創設されたKeiroの「助成金プログラム」はコミュニティに根ざし日系アメリカ人と日本人の高齢者にサービスを提供する等の条件を満たす非営利団体に資金支援をしています。助成金を通じて高齢者とその介護者の「社会的孤立の軽減」に貢献する新規および既存のプログラムに投資することにより、Keiroの支援をより多くの人々に届けることが可能となります。2021年～2022年の助成金プログラムの申請が開始されています。詳細はkeiro.org/jp/grantsをご覧ください。

そのほかの情報はKeiroのウェブサイト（keiro.org）よりご覧ください。



日米文化会館では、日本人および日系アメリカ人の芸術および文化活動をコミュニティの中に織り込むことに努め、リトル東京に深く根ざしています。また、地元及び海外の人や文化の貴重な交流の場としても存在しています。多様性を重視したプログラム、そして本格的な体験を提供することで、積み上げた伝統をつなぎ、また次代の革新的なアーティスト、文化の担い手、そして思想家を育てることを継続して参ります。1971年に創立された日米文化会館は民族的な芸術と文化の拠点であり、この種の拠点としては米国でも有数の規模です。

提供しているサービス

日米文化会館は50年近くにわたって、多民族、多世代の聴衆をひとつにするという目標を掲げて、伝統的な日本文化とその時代毎の慣習を推進して参りました。新設されたトシゾウ・ワタナベ・料理文化センターを主な拠点とし、当会館で行われる全てのプログラムには、四季折々のテーマと祝日をお祝いするという共通した信念があります。パフォーマンスと視覚的な展示（対面形式、オンラインの両方）や、ワークショップと講義を通じて、伝統的な文化と芸術の実践という豊かな遺産を継承しています。年間を通じ、この貴重な機会を皆様と共有したいと思っています。

コミュニティ 芸術

コミュニティ芸術は、日本と日系アメリカ人のヘリテージ〔歴史的・文化的価値がある遺産〕に根ざした協調的なプログラムを通じて、居場所づくりに取り組みます。日米文化会館は『サステナブル・リトル東京（SLT）』を通じて、伝統の共有に役立つコミュニティに根ざした芸術のクラスを地元の高齢者に提供しています。『Shodo for Little Tokyo』（書道教室）、『Ukes4LittleTokyo』（ウクレレ教室）、そして今後行われるクラスには、高齢者が日米文化会館に集まり、ふれあい、創作し、自分らしく生きるために最適な場を幅広くご用意しています。

料理芸術

料理芸術では、和食を紹介します。和食は無形文化財であり、自然、四季、そして自国の食材に対する深い敬意が表れています。私たちのトシゾウ・ワタナベ・料理文化センターでは学芸員の企画による有名シェフを招くワークショップを開催しています。近々、誠をこめて、特に高齢者と介護者を対象とするコミュニティのイベントを発表する予定です。

芸能

芸能（Performing Arts）は日本のパフォーマンスと日本に着想を得たパフォーマンスを発表する、伝統的表現と現代的表現が交差する場です。芸能は余韻が残る、人々を歓迎する空間を創り出します。この余韻であらゆる年代の観客が一つとなる共感という体験をすることができます。

視覚的、 文化的芸術

視覚的、文化的芸術（Visual & Cultural Arts）では、五感を魅了し、間—もの間にある空間—の中に存在する、日本の芸術的実践における古来と現代を表現します。年中行事である「事始」や『自宅でできるいけばなと盆栽』のオンラインシリーズをご覧ください。あるいは一期一会の精神を大切に「茶道」の儀礼を体験してみてください。これらのシリーズは、かけがえのない日本の伝統文化の実践を称賛し、普及させるために提供しています。



「敬老の日フェスティバル」プログラム

- 1. 開会の挨拶**
Keiro 代表兼CEO ジーン・カナモリ
日米文化会館 代表兼CEO パトリシア・ワイアット
- 2. ラジオ体操**
西本願寺チャイルド・ディベロップメント・センター
ウクレレ・フォー・リトル東京
ピアノ伴奏：マキコ・ヒラタ
- 3. コミュニティリーダーによる挨拶**
ロサンゼルス駐在 日本総領事 武藤顕氏
武藤三佐子夫人
- 4. いけばな デモンストレーション**
ホセ・サルセド 池坊
マユミ・オナミ 小原流
ハルコ・タケイチ 草月流
- 5. 高齢者の安全について語る**
アート・イシイ 松林流空手道
- 6. ティータイム**
ロナ・ティソン 伊藤園ノースアメリカ、企業広報・PR担当エグゼクティブバイスプレジデント
- 7. 敬老の日アート展**
- 8. リトル東京書道クラブ**
サステナブル・リトル東京 プログラムディレクター スコット・オオシマ
書道インストラクター クニハル・ヨシダ
- 9. 料理ワークショップ**
日米文化会館 料理キュレーター ジェーン・マツモト
発酵／料理 インストラクター ラム・前田庸子
- 10. コミュニティのスポットライト**
ベニス日系コミュニティセンター 高齢者ウェルネスプログラム プログラムコーディネーター ゲイル・ヒラミ
- 11. 『アジアン・パスウェージョン』のパフォーマンス**
アジアン・パスウェージョン Feat. マーリーン・チャウ、シャーリーン・イノウエ、ケネス・イタガキ、ジェフ・ルイ
- 12. 閉会の挨拶**
日米文化会館理事長 グレン・イナナガ
Keiro理事長 リン・ミヤモト

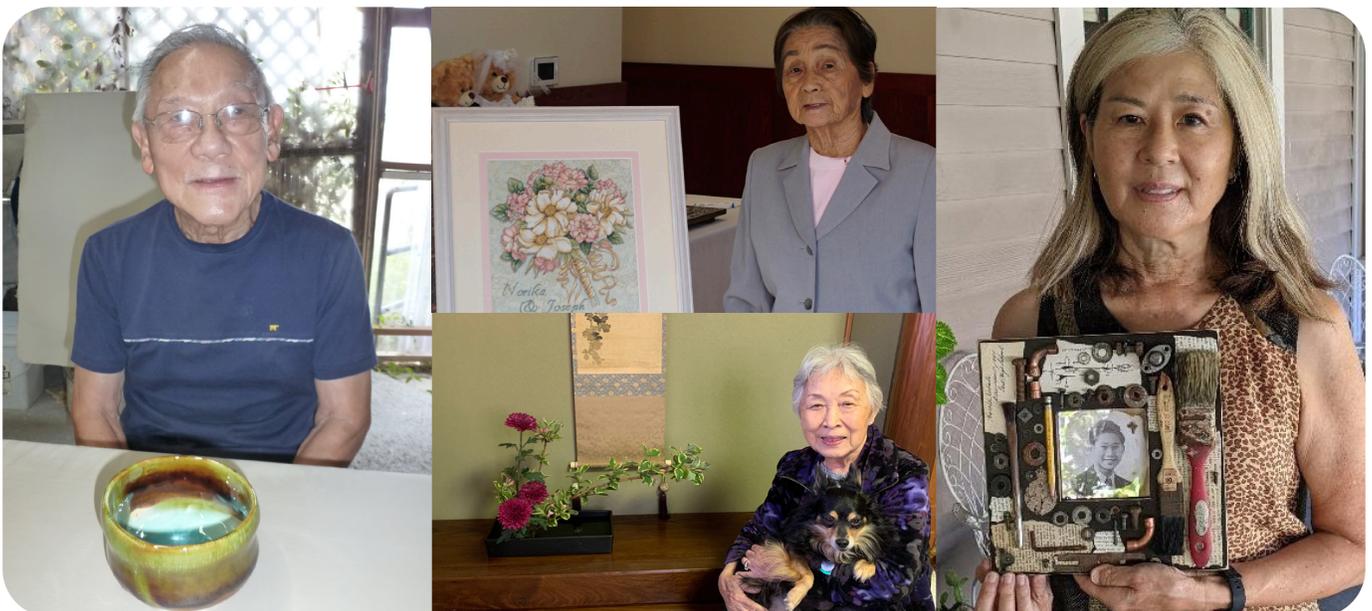
敬老の日について

この日本の祝日は、毎年9月の第3月曜日に行われます。1947年に兵庫県、野間谷村の門脇政夫村長が始めたと言われています。門脇村長は村内の高齢者に敬意を表して感謝を伝えるために、55歳以上の村民を村の公民館に招待し、食事と出し物でもてなし、高齢者の知恵と経験を次世代と分かち合える場所を創り出しました。門脇村長はこの催しを継続し、後にこれを祝日にすることを提案しました。この運動は日本全国に広まり、1966年に日本政府が「敬老の日」を国民の祝日にすると発表しました。

敬老の日アート展「お祝い」

今年のバーチャルアート展に出展して下さった皆様、ご参加ありがとうございました！

作品はkeiro.org/knhよりご覧いただけます。



発表者と演者

アジアン・パスウェージョン



『アジアン・パスウェージョン』はアジア系アメリカ人のボーカル・ハーモニー・グループです。1950、60、70年代のドゥーワップ、モータウン、ポップソングから人気の曲を選び、歌っています。40年以上前にケニー・イタガキとゲイリー・アサムラがグループを設立し、その後シャーリーン・イノウエ、ジェフ・ルイ、そして最新メンバーのマーリーン・チャウが加わりました。

(ゲイリー・アサムラは写真に写っていません)

www.facebook.com/Asian-Persuasion-570859689665679/

マキコ・ヒラタ



国際的なピアニストであり、レコーディングアーティストとして10枚のアルバムをリリースしているマキコ・ヒラタは「Dr.ピアニスト」とも呼ばれ、人々を癒し心をつなぐ音楽の力を伝えることを使命にしています。コンサート活動に加えて、神経科学者たちとのコラボレーションを通じて音楽のメリットを定量化し、見過ごされている社会的リソースとしての音楽を講演、ワークショップ、著作を通じて振興しています。

www.musicalmakiko.com/en/

池坊



池坊で制作される一つ一つの作品に、550年以上前に始まった創造性の伝統が受け継がれています。池坊の発祥の地は日本の京都にある頂法寺（六角堂）です。このお寺は聖徳太子が創建したと言われています。池のほとりにあった僧侶の住まいが「池坊」と呼ばれ、この流派を率いる一族が「華道家元池坊」と称するようになりました。歴代の住職がいけばなの優れた腕前で知られるようになり、こうして池坊は「いけばなの根源」になりました。

いけばな制作：ホセ・サルセド、写真撮影：ケン・ホンジョウ

www.ikenobola.com

ラム・前田庸子



日本の奈良で生まれ育ったラム・前田庸子は認定された発酵専門家であり、『Hakko』の創始者です。麴、味噌、醤油、漬物といった日本の保存食に関するワークショップを通じて、伝統的な日本の発酵がもたらす喜びをロサンゼルスに届けたいと願っています。

www.hakko.online

www.instagram.com/hakko.online

リトル東京 松林流空手道



リトル東京の松林流空手道は長嶺将真が創設した伝統的な沖縄空手の訓練を行っています。30年近く前からリトル東京に道場を構え、現在は新設されたテラサキ武道館を拠点にしています。当道場はコミュニティに根ざしており、コミュニティの様々な役割を補佐し、年間を通じて文化イベントで空手の実演を披露しています。

写真撮影：マーク・アンバ

www.facebook.com/shotokyoshorinryu/

在ロサンゼルス日本国総領事 武藤顕氏



武藤顕氏は1985年に東京大学経済学部を卒業後、外務省に入省。在アメリカおよび在ロシアの日本大使館で勤務した後、2004～2012年にかけて経済局自由貿易協定・経済連携協定室長、国際情報統括官付国際情報官、欧州局ロシア課長、総合外交政策局総務課長を歴任；2012年に在ボストン日本国総領事館総領事に就任。大臣官房参事官兼欧州局（大使、2014～15年）；内閣官房国家安全保障局に勤務（2015～16年）。在アメリカ合衆国日本国大使館 公使（スタンフォード大学Global Affiliate Visiting Scholar, Walter H. Shorenstein Asia-Pacific Research Center, Freeman Spogli Institute for International Studies）（2018～19年）。2019年に在ロサンゼルス日本国総領事館総領事に就任。

www.la.us.emb-japan.go.jp/itpr_en/cggreeting.htm

武藤三佐子氏



1962年生まれ。学習院大学卒業後、日本IBM勤務。二人の娘と夫の4人家族。

西本願寺チャイルド・ディベロップメント・センター



1983年に設立された「西センター（Nishi Center）」は、保育園や幼稚園に通う年齢の2～6歳児に、保育サービスを提供しています。以下の目的のために、日系／仏教徒コミュニティ向けに設立されました。

- 小学校入学に向け、学力・情緒を育む幼児教育を提供する
- 仏教の教えを身近に体験し、親しむ

www.nishihongwanji-la.org/nishi-child-development-center

小原流

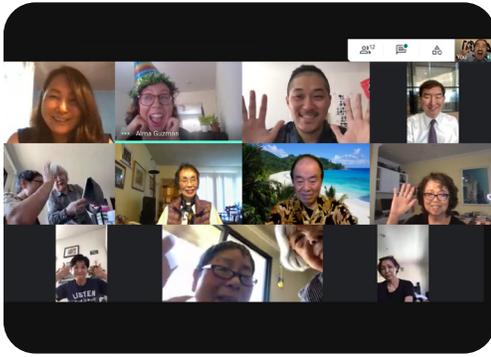


小原流は、日本に西洋文化が流入し始めた19世紀後期に小原雲心が創始しました。雲心はそれ以前のいけばなから決別して新たな形式を創造し、「盛花」と名付けました。この様式が後に小原流の「写景盛花」へと進化しました。また盛花様式に最適な、幅が広くて浅い水盤も小原雲心がデザインして製作されました。

いけばな制作：マユミ・オナミ 写真撮影：ケン・ホンジョウ

www.facebook.com/OharaIkebanaLA

リトル東京 書道部



書道は、日本の伝統芸術の1つです。コロナ禍以前、日米文化会館のリトル東京書道プログラムにはリトル東京の高齢者が集まり、書道家であるクニハル・ヨシダ氏が指導する書道芸術のクラスが開催されていました。コロナ禍においては、クラスをオンラインに移行し、生徒たちは日米文化会館から道具を受け取り、安全な自宅で練習しています。このクラスはリトル東京の住民に無料で提供されるワークショップで、道具はすべて用意され、経験も必要ありません。

www.sustainablelittletokyo.org/projects/shodo

草月流



いけばなの草月流は、勅使河原蒼風によって1927年に誕生しました。草月流では、一人一人の表現の自由を尊重し、そのモットーは「いつでも、どこでも、だれにでも、そして、どのような材料を使ってもいけられる」ことです。今日草月流のいけばなは第四代家元の勅使河原茜の下で、いつも新しく、いつも美しく、決して先入観にとらわれずに1人ひとりの表現の自由を引き出すいけばなの流派として、世界中で人気を集めています。

いけばな制作：ハルコ・タケイチ 写真撮影：ケン・ホンジョウ

www.sogetsula.com

ロナ・ティソン



ロナ・ティソンは茶業界の目利きであり、洗練されたアプローチを通じてアメリカで日本文化を紹介し、革新的なマーケティングを実施しています。伊藤園（ノースアメリカ）社の企業広報担当エグゼクティブバイスプレジデントを務めており、ブランディング、広報、販促イベントを通じた企業イメージの維持・発展における責任者です。

ティソンは伊藤園における役割に加えて、米国茶業協会とティー & ヘルス・コミッティーの理事会や委員会の他、米日カウンシル、カリフォルニア大学デービス校の『グローバル・ティー・イニシアチブ』の諮問委員会や、ティー & ハーバル・アソシエーション・オブ・カナダのメンバーでもあります。サンフランシスコの『ワールド・ティー・エキスポ』、『ロサンゼルス & ノースウェスト・ティー・フェスティバル』、国連、静岡の『世界お茶まつり』、ジェームズ・ビアード・ハウス、スミソニアンズの『レクチャー・シリーズ』で講演を行いました。茶業界に対する貢献によって『2017年度ジョン・ハーニー生涯功労賞』を受賞しました。この権威ある賞を女性が受賞したのは初めてです。

www.itoen.com

ウクレレ・フォー・リトル東京



ウクレレ・フォー・リトル東京は、日本人と日系アメリカ人の高齢者を対象に、日本語と英語でウクレレを無料で教えています。母国語でのレッスンを提供することで、文化の壁をなくし、参加者が日米文化会館とリトル東京に歓迎されていると感じ、自宅にいるようにくつろげるスペースも提供しています。

www.jaccc.org/u4lt

VJCCシニア・ウェルネス・プログラム



ベニス日系コミュニティセンターの『シニア・ウェルネス・プログラム』は、日系アメリカ人と日本人の高齢者の社会的孤立対策として2018年1月に始められました。当プログラムは毎週様々な運動・手工芸・芸術活動のクラスや、娯楽、実演や、Keiroの講演を提供しています。

また当プログラムは自宅から出られない高齢者に支援の手を差し伸べるアウトリーチ活動も実施しており、自宅の玄関先まで訪問してリソースとサービスに関する情報を届けています。

シニア・ウェルネス・プログラムの目標は、参加者全員が引き込まれるような有意義な活動をオンラインと対面で創造すること、VJCCの全ての高齢者と介護者が利用可能な文化に配慮した活動やサービスなどのコミュニティ向けのプログラムとイベントを提供することです。

vjcc.com/senior-wellness-program/

ビデオ配信 製作者：ケン・ホンジョウ

コミュニティパートナーの皆様、ご協力ありがとうございました。

イースト・サンゲブル・バレー日系コミュニティセンター

ガーデナ平原日本文化会館

オレンジ郡仏教会

パサデナ仏教会

ベニス日系コミュニティセンター

Keiro リソース

IYASHI 癒 CARE

Keiroとプロビデンスの提携プログラム、癒しケアは、深刻な病や命に係わる症状を抱える日系アメリカ人および日本人の高齢者に、文化に配慮した緩和ケアを外来で提供します。

癒しケアについてのお問い合わせはこちらから：

1. オンラインの[お問い合わせフォーム](#)をご記入ください。Keiroスタッフよりご連絡させていただきます、より細かい状況を伺うと共に、ご質問にお答えいたします。
2. 癒しケア専用ライン 213.873.5791 にメッセージを残してください。Keiroスタッフが2営業日以内に折り返しお電話させていただきます。

詳しい情報は、こちらから：keiro.org/jp/iyashi-care

Keiro のイベント(英語にて提供)

Keiro 60周年記念イベント 2021年10月23日（土）

Keiroの60周年を祝い、オンラインビデオのプレミア配信を実施いたします。60年の歴史、レガシー、そして先進的なサービスとイノベーションを、スペシャル・ゲストを迎えて振り返ります。ぜひご参加ください！

詳細はこちら：keiro.org/60

Keiroバーチャルフォーラム：関節炎と上手に生きる 2021年10月26日（火） 10:30 – 11:30 a.m.

関節炎は高齢者の間でよくみられる症状ですが、関節の痛みは管理することができます。明日から使える関節炎の管理方法について紹介します。

申込はこちら：keiro.org/virtual

秋のスピーカー・シリーズ

秋に開催予定のスピーカー・シリーズの日程、内容、詳細についてはkeiro.org/speaker-series をご参照ください。皆様のご参加をお待ちしております！

日米文化会館 リソース

敬老の日「文化バンドル」

日米文化会館では、高齢者と介護者に母国語でのクラスや文学作品を楽しめるプログラムを提供するとともに、伝統的な日本式庭園で私的な集まりもできるようにしています。日本人と日系アメリカ人のコミュニティのために次世代の文化の担い手を育てるには、高齢者の皆様からのご指導が不可欠です。皆さんが愛するご家族とともに楽しみ、想像力を駆使して楽しむようにと考え、日米文化会館では以下のプログラムをご用意しました。詳しくはこちらからご覧ください。 JACCC.org/KNH

森林浴: 素晴らしいジェームズ・アーヴィン日本庭園を造った南加庭園業連盟のメンバーが、今年の5月に再びこの庭園を訪れ、新たな命を吹き込んでいただきました。プロの剪定により、庭石や木々が見違えるように生き生きとしています。特別な場所が見事によみがえりました。どうかこの素晴らしい光景をご堪能いただければと願っています。昨今の安全上の理由から当庭園は現在一般公開をしていませんが、再開に関する詳しい続報をお待ちください。

アーカイブから（1世の詩プロジェクト）: ロサンゼルスにいた1世の作者による詩や文学作品の多くは、戦争や強制収容所のために失われたと考えられていました。日米文化会館の進める『1世の詩プロジェクト』とは、1世のアーティストが書いたこれらの詩や文学作品の貴重なアーカイブを保存するものです。これらの翻訳は、激動の歴史に翻弄された時代の第1世代の生の感情や考えを私たちに教えてくれます。また、創作に対する1世の多大な貢献について若い世代と世界に啓蒙するために、これらの翻訳を一般公開しています。

俳句チャレンジ（Haiku Challenge）: 創造力を発揮してください！『俳句チャレンジ』はどこからでも参加でき、ベテランから初心者まで、あらゆる年代の作者が自由に参加できます。コロナ禍の間、世界中から俳句が投稿されました。皆さんの投稿をお待ちしています。入選した俳句は、日米文化会館のホームページ、ソーシャルメディア、毎月のニュースレターで発表します。

リトルトーキー・リトルポッドキャスト シーズン1~2: 毎月、私たちの多様なコミュニティから地元の祝賀行事や、日本の七十二候をテーマにした新作の番組をお届けしています。地元リトル東京在住アーティストの美しい芸術作品や、マーゴ・モラレスが紹介するレトロな日本のアナログレコードの音楽や、岩崎みやのレポートによる地元の最新情報の他、ウクレレの魔術師池井チェスターによる演奏も月に1度お届けしています。

JACCCのイベント

ヘリテージX展覧会 | 9月10日~10月25日、ジョージ・J・ドイザキ・ギャラリー*

ロサンゼルス芸術シーンに多大な貢献をした先駆者である日系アメリカ人芸術家、マイク・カネミツ、サワコ・シンタニ、ケイショウ・オカヤマ、ノブ・ハデイシ、4名を称える展覧会です。展覧会開催中、3Dでのバーチャルツアーも提供しています。

レトロフューチャー | 2021年10月、オンライン: JACCC.org/retro-future

オンラインでお送りする1時間のシリーズ番組、『レトロフューチャー』をぜひお聴きください。『リトルトーキー・リトルラジオ（Little Tokyo Little Radio）』を再現したこのユニークな番組で、懐かしいサウンドを再発見してください！

池坊いけばな展覧会 | 11月20~21日、ジョージ・J・ドイザキ・ギャラリー*

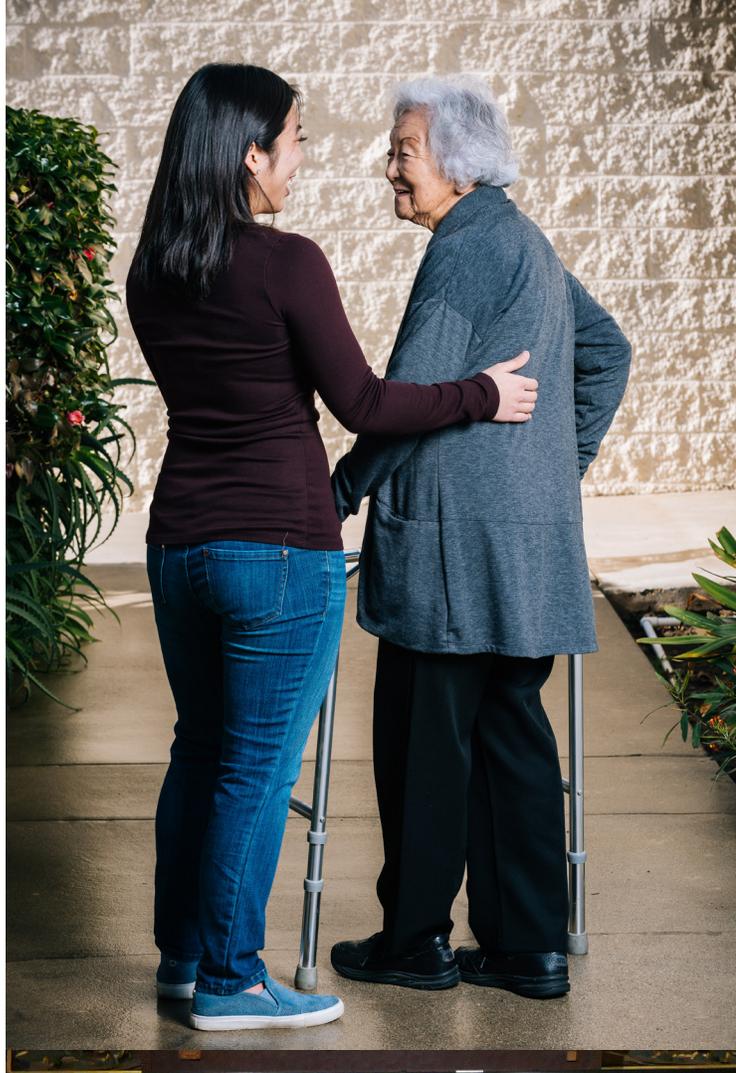
池坊ロサンゼルス支部の美しいいけばな作品を、当会館のジョージ・J・ドイザキ・ギャラリーで展示します。

*ドイザキギャラリーは毎週火曜日から日曜日、午後12時から4時まで一般公開されています。予約は不要ですが、ギャラリー内では鼻と口をカバーするマスクの常時着用が必須です。

Keiroへの支援

Keiroは、コミュニティの変化するニーズと文化的背景に配慮した様々なサービスとプログラムをロサンゼルス、オレンジ、ベンチュラカウンティにお住まいの高齢者と介護者へ提供しています。これらのニーズの高いリソースやサービスは皆様からのご寄付に支えられて継続されています。ご高齢者や介護者にポジティブな影響を与えるプログラムを提供し続けられますよう、引き続きご協力をいただければ幸いです。Keiroは501(c)(3)の非営利団体で、寄付は法律に準じた課税控除の対象になります。

Keiroへの支援はこちらから：keiro.org/support



日米文化会館への支援

日米文化会館が世代を超えたプログラムを企画し、四季折々の行事を支援し、家族の絆を深める催しをしていくためには、皆様の支援が必要です。25ドルのご寄付を賜れば、大人2名が書道のクラスに参加できます。50ドルのご寄付では、いけばなのお弟子さんたちが近隣の地域に作品を飾ることが可能になります。そして100ドルのご寄付は、雛祭りなどの家族向けの無料プログラムを支援します。今を生きる私たちや未来の世代のために伝統を守り続けることができます。日米文化会館は501(c)(3)の非営利団体です。

課税控除対象になる寄付の方法について、または詳しい情報については、ディベロップメントアソシエイト (Development Associate) のキャロライナ・ローグに電話(213) 348-5338までお問い合わせをいただくか、こちらのホームページよりご覧ください。JACCC.org/donate.



スポンサーの皆様、ありがとうございました。

Presenting Sponsor

The Aratani Foundation

Fine Arts Showcase Sponsor

The Doizaki Family

Kawaguchi-Kihara Memorial Foundation

Omedetou Sponsors

AARP

Gene & Vickie Kanamori

Jack Kurihara & Carol Inge

Lynn Miyamoto & Kevin Kroeker

Keiro no Hi Sponsors

Home Care Assistance/Millennia

Kimiko Fujita & Kihei Otani

Nikkei Senior Gardens

In-Kind Sponsors

AARP

Bourbon Foods USA

ITO EN